

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月12日

【四半期会計期間】 第57期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 株式会社だいこう証券ビジネス

【英訳名】 Daiko Clearing Services Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山本 晃

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋兜町13番1号

【電話番号】 03(3666)2231

【事務連絡者氏名】 財務部長 大矢 光 一

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋兜町13番1号

【電話番号】 03(3666)2231

【事務連絡者氏名】 財務部長 大矢 光 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第3四半期 連結累計期間		第57期 第3四半期 連結累計期間		第56期	
	自	平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自	平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自	平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業収益	(百万円)	9,020		13,191		12,525
経常利益	(百万円)	6		894		337
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(百万円)	491		813		833
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	529		1,089		635
純資産額	(百万円)	24,106		24,630		23,999
総資産額	(百万円)	39,043		46,585		42,604
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額()	(円)	19.30		31.95		32.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			31.87		
自己資本比率	(%)	59.8		51.2		54.5

回次	第56期 第3四半期 連結会計期間		第57期 第3四半期 連結会計期間	
	自	平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自	平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期純損失金額()	(円)	14.94		13.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
3. 第56期第3四半期連結累計期間および第56期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動は次のとおりであります。

（ITサービス事業）

第2四半期連結会計期間において、当社は、ケーシーエス株式会社（旧富士ソフトケーシーエス株式会社）の全株式を取得し、同社を連結子会社化いたしました。

なお、株式会社野村総合研究所は、当社株式の取得により、平成24年10月23日付で当社のその他の関係会社に該当することとなりました。

この結果、平成24年12月31日現在では、当社グループは、当社、子会社3社およびその他の関係会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調にあったものの、海外経済の減速懸念や円高の長期化による景気下押しリスクが存在する等、先行き不透明な状況で推移いたしました。しかし、平成24年12月の政権交代による新政権への政策期待や円安の進行により、年末に向けて株式市況に回復の動きが見られました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画（平成23年度から平成25年度まで）の2年目となる平成24年度において、『持続的な成長軌道』への復帰を果たすため、引き続き、「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした諸施策に鋭意取り組んでおります。その具体的な施策として、ITサービス事業の強化を図るため、平成24年7月31日付で、証券バックオフィスシステムのアウトソーシングサービスに強みを持つケーシーエス株式会社（旧富士ソフトケーシーエス株式会社）を子会社化いたしました。また、証券事業における新たなサービスとして、平成24年11月より証券会社への商品供給サービスを開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、ケーシーエス株式会社の子会社化等によりITサービス事業の収益が拡大したため、営業収益は131億91百万円（前年同四半期比46.2%増）となりました。一方、ITサービス事業に係る費用が増加したものの、前期に実施した希望退職や事務所の集約等により費用削減が図られ、営業利益は8億6百万円（前年同四半期比8億57百万円改善）、経常利益は8億94百万円（前年同四半期比8億87百万円増）となりました。また、金融商品取引責任準備金戻入等を特別利益として計上した結果、四半期純利益は8億13百万円（前年同四半期比13億4百万円改善）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

バックオフィス事業

バックオフィス事業におきましては、業務内容の見直しにより口座振替等の業務量が減少した一方で、相続手続き事務代行サービスや外国株式業務等の高付加価値サービスの業務量は増加いたしました。これらの結果、営業収益は56億65百万円（前年同四半期比9.6%減）、セグメント利益（営業利益）は58百万円（前年同四半期比2億18百万円改善）となりました。

ITサービス事業

ITサービス事業におきましては、大手証券会社向けの証券バックオフィスシステムの提供およびその業務サポートが堅調に推移したことに加え、平成24年7月に子会社化したケーシーエス株式会社の業績が反映されたこと等により、営業収益は62億22百万円（前年同四半期比301.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4億88百万円（前年同四半期比931.0%増）となりました。

証券事業

証券事業におきましては、前期に大口顧客を獲得したことにより株式等間接口座管理サービス（CLS）が堅調に推移したことに加え、株式市況の回復により顧客証券会社からの委託手数料等が増加いたしました。また、新たなサービスとして商品供給サービスを開始いたしました。これらの結果、営業収益は9億96百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益（営業利益）は52百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

金融事業

金融事業におきましては、証券担保ローンの融資残高が堅調に増加したことにより貸付金利息が増加し、営業収益は3億7百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1億56百万円（前年同四半期比1億52百万円増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は465億85百万円で、前連結会計年度末に比べ39億81百万円増加しました。これは主に、ソフトウェア等が減少した一方で、営業貸付金、営業未収入金等が増加したことによるものです。また、負債合計は219億55百万円で、前連結会計年度末に比べ33億50百万円増加しました。これは主に、信用取引借入金等が減少した一方で、短期借入金等が増加したことによるものです。純資産合計は246億30百万円で、前連結会計年度末に比べ6億31百万円増加しました。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は36百万円であります。これは、ITサービス事業における研究開発活動によるものであります。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社の従業員数は289名増加し、674名となりました。これは主に第2四半期連結会計期間においてケーシーエス株式会社を連結子会社化したことにより、ITサービス事業で319名増加したことによるものであります。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、ITサービス事業における販売の実績が著しく増加しております。その内容については、「(1) 経営成績の分析 ITサービス事業」をご参照ください。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,240,000
計	66,240,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,537,600	25,537,600	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	25,537,600	25,537,600		

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年12月31日		25,537,600		8,903		11,727

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 80,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 25,442,400	254,424	
単元未満株式	普通株式 15,200		
発行済株式総数	25,537,600		
総株主の議決権		254,424	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が1,000株（議決権10個）が含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が85株含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社だいこう証券ビ ジネス	東京都中央区日本橋兜町 13番1号	80,000		80,000	0.31
計		80,000		80,000	0.31

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名および職名	旧役名および職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (営業推進部・バックオフィス事業部 ・D-FINDS事業部・クリアリ ング事業部・商品業務部担当、営業推 進部長)	常務取締役 (営業推進部・バックオフィス事業部 ・D-FINDS事業部・クリアリ ング事業部担当、営業推進部長)	御園生 悦夫	平成24年9月1日

3 【その他】

(1) 【自己資本規制比率】

		前事業年度末 (平成24年3月31日) (百万円)	当第3四半期会計期間末 (平成24年12月31日) (百万円)
基本的項目	(A)	22,350	22,749
補充的項目	その他有価証券評価 差額金(評価益)等	81	250
	金融商品取引責任準備 金等	556	182
	一般貸倒引当金	42	66
	計	681	499
控除資産	(C)	10,137	11,238
固定化されていない 自己資本	(A) + (B) - (C) (D)	12,894	12,010
リスク相当額	市場リスク相当額	346	412
	取引先リスク相当額	363	355
	基礎的リスク相当額	1,769	1,841
	計	2,480	2,609
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100	519.9%	460.2%

(2) 【有価証券の売買等業務】

有価証券の売買の状況(証券先物取引等を除く)

イ 株券

区分	受託(百万円)	自己(百万円)	合計(百万円)
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	1,167,047	52	1,167,100
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	1,459,013	2,241	1,461,254

ロ 債券

区分	受託(百万円)	自己(百万円)	合計(百万円)
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	16	100	116
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	37	1,401	1,439

ハ 受益証券

区分	受託(百万円)	自己(百万円)	合計(百万円)
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	14,230		14,230
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	22,218		22,218

二 その他

区分	指標連動証券(百万円)	新株予約権証券(百万円)	合計(百万円)
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	11		11
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	11	0	12

(受託取引の状況) 上記のうち受託取引の状況は、次のとおりであります。

区分	指標連動証券(百万円)	新株予約権証券(百万円)	合計(百万円)
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	11		11
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	11	0	12

証券先物取引等の状況

イ 株式に係る取引

区分	先物取引		オプション取引		合計(百万円)
	受託(百万円)	自己(百万円)	受託(百万円)	自己(百万円)	
前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	801,870		1,651,500		2,453,370
当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	453,727		3,278,911		3,732,638

ロ 債券に係る取引

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)および第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,874	4,809
預託金	496	652
営業貸付金	12,292	13,906
信用取引資産	8,735	8,645
信用取引貸付金	4,901	4,588
信用取引借証券担保金	3,833	4,057
たな卸資産	-	22
営業未収入金	1,274	2,132
有価証券	162	202
短期差入保証金	3,163	4,118
その他	538	404
貸倒引当金	250	245
流動資産合計	31,285	34,647
固定資産		
有形固定資産	1,710	1,778
無形固定資産		
ソフトウェア	7,080	6,392
その他	75	293
無形固定資産合計	7,155	6,685
投資その他の資産		
投資有価証券	2,130	2,418
その他	452	1,172
貸倒引当金	129	116
投資その他の資産合計	2,453	3,473
固定資産合計	11,318	11,938
資産合計	42,604	46,585
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,525	7,625
信用取引負債	6,320	5,588
信用取引借入金	1,585	238
信用取引貸証券受入金	4,735	5,349
有価証券担保借入金	270	251
有価証券貸借取引受入金	270	251
営業未払金	332	452
未払法人税等	88	353
短期受入保証金	3,639	4,362
賞与引当金	155	193

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
その他	1,104	1,583
流動負債合計	17,439	20,411
固定負債		
退職給付引当金	474	1,097
その他	135	263
固定負債合計	609	1,361
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	556	182
特別法上の準備金合計	556	182
負債合計	18,605	21,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,903	8,903
資本剰余金	11,727	11,727
利益剰余金	2,615	3,047
自己株式	53	53
株主資本合計	23,193	23,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	227
土地再評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	4	-
その他の包括利益累計額合計	38	227
新株予約権	38	22
少数株主持分	728	755
純資産合計	23,999	24,630
負債純資産合計	42,604	46,585

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	9,020	13,191
営業費用	4,876	8,255
営業総利益	4,144	4,936
一般管理費	4,195	4,129
営業利益又は営業損失()	50	806
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	35	34
受取賃貸料	12	20
その他	10	28
営業外収益合計	62	87
営業外費用		
為替差損	5	-
その他	0	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	6	894
特別利益		
投資有価証券売却益	7	1
金融商品取引責任準備金戻入	161	373
その他	23	45
特別利益合計	191	420
特別損失		
固定資産除却損	11	3
投資有価証券評価損	33	-
子会社株式売却損	-	8
減損損失	30	45
事務所移転損失	173	-
希望退職関連費用	282	-
その他	4	5
特別損失合計	534	64
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	336	1,250
法人税、住民税及び事業税	107	355
法人税等調整額	8	4
法人税等合計	116	351
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	453	899
少数株主利益	38	86
四半期純利益又は四半期純損失()	491	813

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	453	899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	184
為替換算調整勘定	2	4
その他の包括利益合計	75	189
四半期包括利益	529	1,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567	1,002
少数株主に係る四半期包括利益	38	86

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したケーシーエス株式会社を連結の範囲に含めております。 また、第2四半期連結会計期間より、連結子会社であった代行科技(大連)有限公司を出資持分の譲渡に伴い、 連結の範囲から除外しております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社および一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、
 第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)ならびに
 のれんおよび負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	935百万円	1,438百万円
のれんの償却額	33 "	54 "
負ののれんの償却額	2 "	2 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	190	7.5	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	190	7.5	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	190	7.5	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年10月29日 取締役会	普通株式	190	7.5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	6,270	1,548	937	264	9,020		9,020
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	62				62	62	
計	6,332	1,548	937	264	9,083	62	9,020
セグメント利益 又は損失()	159	47	50	3	58	7	50

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額7百万円には、セグメント間取引消去7百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	28	0	0	0		30

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	IT サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	5,665	6,222	996	307	13,191		13,191
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	60	47			107	107	
計	5,725	6,269	996	307	13,299	107	13,191
セグメント利益	58	488	52	156	755	51	806

(注) 1 セグメント利益の調整額51百万円には、セグメント間取引消去50百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

「ITサービス」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことなどにより、セグメント資産は前連結会計年度の末日に比べ、3,524百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	バックオフィス	ITサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	45	0				45

(のれんの金額の重要な変動)

「ITサービス」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては255百万円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額および算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	19円30銭	31円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	491	813
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	491	813
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,457	25,457
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		31円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)		62
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2 【その他】

第57期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当については、平成24年10月29日開催の取締役会において、平成24年9月30日を基準日として次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	190百万円
1株当たりの金額	7円50銭
支払請求権の効力発生日および支払開始日	平成24年12月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 2月12日

株式会社だいこう証券ビジネス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 井 一 郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 川 幸 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社だいこう証券ビジネスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社だいこう証券ビジネス及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。